

# コース26 あずまやさん 四阿山

リーダー CL K/T SL M/T  
 実施日 平成28年 7月 31日(日) 天候 晴  
 参加者 18人 (男性 6 女性 12)  
 グレード C上  
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	駅西口、米山SA、小布施PA(靴はき替え)経由
菅平牧場P	8:53	9:00	他の団体や、家族連れなど多し
小四阿山	10:35	10:40	ここから眺望の利く尾根となる
中四阿山	11:30	11:35	2つの岩山越しに、頂上手前の台地を望む
根子岳分岐	12:15	12:25	中四阿下の鞍部からの急登ひと登りでホット一息
四阿山山頂(昼食)	12:40	13:35	最初南峰、直ぐ北峰。ゴンドラコースからも続々来る
中四阿山下方鞍部	14:13	14:20	四阿山からの急崖を望んで一休み
小四阿山	15:25	15:35	右手に根子岳、左手に浅間山地、心よくまで眺望
菅平牧場	16:15	16:25	牧場の牛達が「お帰り」と言ってくれたような…
秋葉区役所前	19:45		長野では、強い雨が降った様子

## 山行等概要(幹事のコメント)

- 日本100名山2,354mは、やはり眺望の根子岳を従えたほぼ独立峰で、周囲の山々から良くそれと見える名峰である。山頂は長野県側の南峰・社と、群馬県側の山頂・社に分かれていて360°の大展望と共に、一度登ったら忘れられない山となる。
- この山の会山行が数年前に孺恋村側からゴンドラである程度上るコースで計画されたが、ゴンドラの運行が不能となって中止されたままになっていたので、私共が登った21年前と逆コースで下見してみた。ところが、四阿山からの下りと根子岳への上り返しが厳しく、新潟からの日帰り山行では無理だし、と言って他の山にかけて宿泊山行とするにも、この近辺の宿は皆、キャンセル料を必要とする(夏季は学生達の長期合宿の利用で満杯となる)ーなど、宿泊も難しいことがわかった。
- そこで、山行は、この山単独で中尾根コース日帰りとしたが、バスの走行距離、ドライバーの拘束時間のいずれも2人乗務のギリギリであって、当初だいぶ余裕をもった計画を、2人乗務を避けるギリギリのところ(歩行タイムを詰めるしかないが)での実施とした。
- 好天の暑さの中、ほぼ計画どおりの歩行タイムで、バスの帰着もドンピシャり予定どおり。



四阿山山頂 2,354m

- 花と展望と変化に富むコースでの山旅であった。以下、目にした花を列挙する。  
ギボウシ、オトギリソウ、ハクサンフウロ、ツリガネニンジン、シャジンの類、マツムシソウ、ヤナギラン、コキンレイカ、ネバリノギラン、イブキジャコウソウ、クルマユリ、ニッコウキスゲ、ヤマハハハコ、ウスユキソウ、クガイソウ、アザミ、イチヤクソウ、ハギ、ウツボグサ、アキノキリンソウ、オヤマボクチ、シシウド、ワレモコウ、マルバダケフキ、ニガナ、〇〇ヨモギ、キキョウ、〇〇シオガマ、オンダテ、キンポウゲ、トリアシショウマ、シラタマノキ、アカモノなどなど

## 「四阿山山行に参加して」

(1562) M/S

梅雨末期を思わせるように朝晩の降雨模様が数日続いた後での、梅雨明けし直したかのように感じられる眩しい朝日に送られての総勢 18 名での出発となりました。

北陸道から上信越道での車窓からの眺めは、八石山、米山から始まって妙高連山、斑尾方面の山々、黒姫山、志賀高原の峰々と、どれもこれもこれから山に登ろうとする気持ちを一段と高揚させてくれるものでした。

この度の山行「四阿山」は日本百名山のひとつに数えられています。長野県の中東・県境部に位置し、浅間連山や志賀高原山塊に囲まれていることからなかなか踏み込める機会に恵まれず、いつも次の宿題にできてしまっていました。

そんな中、今回H.C.山行計画に取り上げていただいた「喜んでの参加」となりました。

今回は、花の百名山根子岳を周回することは時間的に無理と聞いていたので菅平牧場口からのピストンでした。

四阿山は 34 万年前のカルデラ形成で生まれた成層火山で、いくつもの外輪山のひとつが四阿山本峰でもあり根子岳でもあります。モーモーとゆったりと草を食む牛君たちに激励されてのいざ登山開始。気持



元気な中学生



小四阿山山頂



ちの良いシラカバ林をくぐり大明神沢を渡渉すると、ほぼ真っ直ぐを基調とした緩やかな登山道をひたすら進みます。タケカンバが低くなってくると、登山道脇にもノアザミ、ハクサンフウロ、ツリガネリンドウ、ウメバチソウなどの花群が歓迎をしてくれ、第一目標の小四阿山に着くころには左に根子岳のどっしりとした全容威容がナイスビューです。途中、修学登山で来たとの70数名の女子中学1年生とすれ違い、その元気な姿にまた新たなパワーを補給させてもらいました。



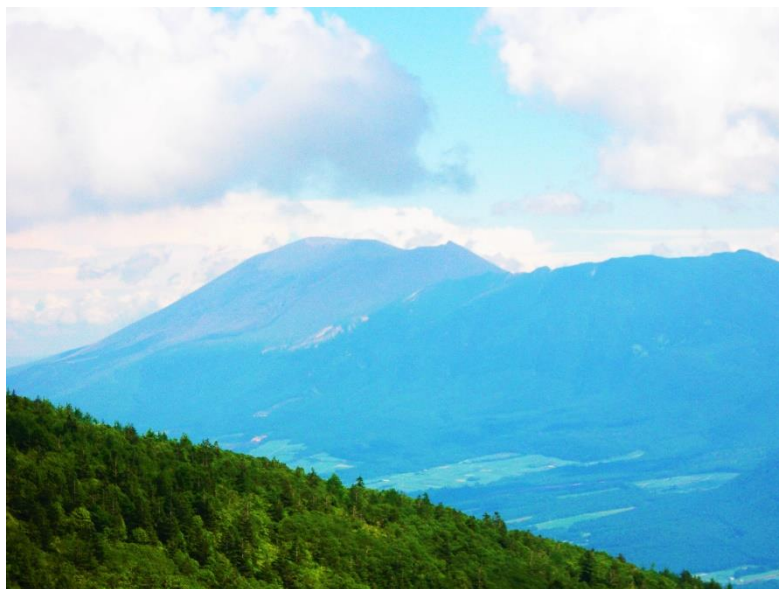
中四阿山山頂

姿は、私にとって一番感銘深く強く印象に残りました。  
「さすが百名山だ！」と思わず声をあげてしまいました。

間もなく南・北峰の山頂を極めることが出来、両峰の祠に参拝の後、目の湯の丸連山、浅間山、蓼科山を始めとする北八ヶ岳方面、遠くに薄っすらと北アルプス、志賀高原連座の360度展望に浸りながらの至福の美酒乾杯になりました。

下山は、感激と思い出をザックに一杯に詰め、往路を順調に降りることができ、予定よりも30分早くでの全員無事下山となりました。

これもリーダー、サブリーダーをはじめ、各班長さん、そして参加された皆さん全員のお蔭と深く感謝したいと思います。また一つ大きな感激と思い出を持つことができました。本当にありがとうございました。



7合目付近から臨む浅間山・黒班山

中四阿山の岩峰脇を過ぎるといよいよ四阿山の本峰も迫ってきます。根子岳との間が大きく切れ落ちた爆裂火口を横目にひたすら高度を上げ、涼風に癒されながら鳥居峠分岐を過ぎると、これから登る木道階段を通して後ろに控えた四阿山山頂が目前に迫りました。

空の青さ、山肌・岩稜の茶褐色、木々の深緑が程良くマッチし、その美しさ感激です。

ここから仰ぎ見る山頂の雄